

職場に存在するジェンダーギャップ

-女性の社会活躍推進に向け-

上江 杏佳

何故日本にはジェンダーギャップが存在するのだろうか。世界経済フォーラムが発表する世界のジェンダーギャップ指数ランキングから日本は世界から遅れを取っていること、職場が特にジェンダーギャップが存在していることが明らかとなっている。そこで本研究では、ジェンダーギャップを減少させ、女性の社会進出に繋げるため、女性の社会進出の歴史から制度の問題を研究した。この研究により、制度は進んでいることが判明し、制度だけの問題ではないと考え環境の問題に視点を当てた。

ジェンダーギャップを無くすためには、人々は、自分の性の有り方が正常であり好ましいという固定された価値観を変えなければならない。自己と他者の性が置かれた位置を認識し、自らが持つ固定概念、またそこから男女差別に繋がってしまっていることに気づかなければ意識を変容することはできない。こうした環境が出来上がった上で、制度は正常に機能するのである。

制度としては、日本は家庭を犠牲にしなければ出世することのできない環境となっているため、義務として、男性女性ともに平等な制度の改正が必要なのではと考える。